

●お囃子に誘われて●



江戸時代のハイテクと
モダンアートです。



●竹鼻まつり●

毎年5月3日に行われる竹鼻まつりは、竹鼻町にある八剣神社の祭礼で、絢爛豪華な山車（県指定重要有形民俗文化財）が、八剣神社で奉芸を行った後、各町内の会所を巡りながら、町中を練り歩きます（半数ずつの隔年交互曳行）。山車は、きらびやかな大幕・見送りをまとい、芸術的にも大変素晴らしいものです。ぜひ、一度ご観覧ください。



つげき姫

天つげき

竹鼻まつりの山車



●宮町の山車●

子どもの手踊り
大部分は明治20年に完成



●大西町の山車●

カラクリ人形（湯取神子）
年次不明、嘉永元年と明治21年改修



●上鍋屋町の山車●

ぬいぐるみ（ほてい踊り）
明治37年大垣久瀬川より購入



●下鍋屋町の山車●

カラクリ人形（唐子肩車太鼓打ち）
天保年間の作、明治・大正各初年に改修



●川町の山車●

子どもの手踊り
宝暦年間と伝えられる



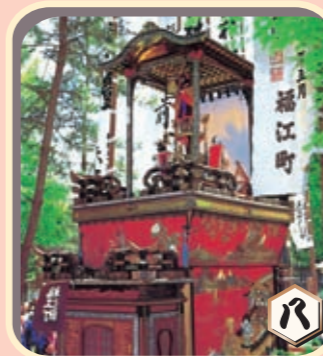
●下城町の山車●

子どもの手踊り
寛政6年、改修文久3年



●上城町の山車●

カラクリ人形（唐子鉦叩き太鼓打ち）
寛政6年、改修嘉永元年



●福江町の山車●

カラクリ人形（唐子文字書き）
天明から寛政頃



●新町の山車●

子どもの手踊り
震災で焼失、明治38年再建



●中町の山車●

子どもの手踊り
震災で焼失、一時奥町の山車を
購入使用、大正2年に再建



●本町の山車●

手踊り
震災で焼失、明治43年に再建



●上町の山車●

カラクリ人形（勅使、岩船竜人）
濃尾震災で焼失、明治32年再建



●今町の山車●

子どもの手踊り
幕末一町内として独立、
大正中期に新造



●八剣神社●

祭神として日本武尊を祀る神社で、創立年代は不明ですが、天正9年（1581）竹ヶ鼻城の鬼門除けとして、現在の地に移転したと伝えられています。